

---

## 沼津情報・ビジネス専門学校のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業実務、衛生、教育・社会福祉における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や教育者の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 情報処理、キャリア教育等社会人として必要な基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

---

## 医療事務科のディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針)

少子高齢化の一途をたどる現代において、医療機関での医療事務の役割は大きく変化している。レセプトの作成およびチェックができることはもちろん、 $\alpha$ として医療機関に勤務する上で理解すべき医療関連法規、院内外の専門職と対等に仕事を進めるための基本的な医学知識などを身に付けることが現場で活躍する上で必須である。また、サービス業である医療機関の顔となるためのコミュニケーションスキルも高めておく必要がある。その様な「レセプト作成 $\alpha$ 」のスキルを身に付けた人材の育成を目標とし、「診療報酬請求事務」「医学知識と医療関連法規」「患者対応力」の3つを柱とし医療機関や介護施設で事務職として活躍するための基礎習得を卒業の条件としている。

### ●診療報酬請求事務

医療保険制度を理解した上で、診療点数早見表の内容を読み取り、手書きおよび医事コンピュータを使用してレセプトを作成およびチェックすることができる。

### ●医学知識と医療関連法規

解剖生理学から臨床医学の要点を学ぶことで、診療録に記載されている内容を正確に理解することができる。また、医療機関に関連する法規について理解している。

### ●患者対応力

ビジネスマナーを習得するのみならず、医療保険制度や介護保険制度を理解し、窓口での患者様からの質問に正確に応えることができる。また、介護用具に対する知識や高齢者心理を理解し、来院した患者様の心理的・身体的なサポートができる。

---